

国際認定スキーマ療法士取得資格トレーニングコースについて

千葉大学子どもこころの発達教育研究センターでは、昨年度日本で初めて、スキーマ療法の国際資格が取得できるトレーニングコースを開催しました。

スキーマ療法とはアメリカの心理学者の J.Young によって体系化された、認知行動療法をも内包する統合的な心理療法です。スキーマ療法は近年、パーソナリティ障害のみならず、慢性うつ病、PTSD、難治性 OCD、高機能自閉スペクトラム症などの、いわゆる「複雑事例」や複雑な疾病に対しての治療効果が報告されつつあります。スキーマ療法は、長期的で慢性的な問題に対し、生得的特徴や幼少期の体験により構成された認知的・感情的体系である「早期不適応的スキーマ」や、環境に対する過剰で不適応的な反応である「スキーマモード」に介入し、「その人のパターン化した過剰で不適応的な対人的反応」を軽減させ、より適応的な対人的反応に変えていくことを目的としています。そのため、診断に関わらず、感情調節が苦手な慢性的な不適応を繰り返すクライアントに対して適応できます。

このトレーニングコースは、インテンシブトレーニングが 8 日間、その後、20 回（希望者によって 40 回）の SV を通して、体系的にスキーマ療法のスキルを身につけることができる国際スキーマ療法士の資格に準拠した、トレーニングコースです。20 回の SV のあと、国際スキーマ療法協会にセッション（録音と英訳したセッション内容）を提出することで、合格すれば、国際認定スキーマ療法士のスタンダード資格が授与されます。

講師紹介

大島郁葉 千葉大学子どもこころの発達教育研究センター教授

医学博士/臨床心理士/Trainer-Supervisor Schema Therapist

日本で初めてスキーマ療法のトレーナー資格を取得する。専門は思春期以降の高機能自閉スペクトラム症者。

堀有伸 ほりメンタルクリニック院長

東京都出身。平成 9 年に東京大学医学部卒業。医学博士。国際認定スキーマ療法士 (Individual, Standard)。精神保健指定医。日本精神神経学会認定精神科専門医。日本医師会認定産業医。認定持続エクスポージャー法 (PTSD に対する認知行動療法) セラピスト。平成 24 年 4 月より福島県南相馬市に移住し、東日本大震災からの復興活動にかかわる。平成 28 年 4 月より同地にて、ほりメンタルクリニックを開業し、現在に至る。

村上元 新潟医療福祉大学准教授

作業療法学博士。作業療法士。臨床発達心理士。公認心理師。スタンダードレベル国際認定スキーマ療法士。SST 普及協会認定講師。